

ispace-U.S.、米国発の月面ミッションに向け、コロラドの最新 MCC (管制室) を公開



サミット・ミッション・コントロール・センターの正面入り口

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード [9348](#)）は、当社米国法人である ispace technologies U.S., inc（以下 ispace U.S.）が本日、拠点であるコロラド州デンバーの本社に、管制室となるサミット・ミッション・コントロール・センターを開設したことを発表いたしましたので、お知らせします。本管制室は、ミッション3をはじめとする今後の ispace U.S.が実施予定のミッションにおいて、宇宙機や顧客ペイロードとのテレメトリ通信のための地上の中核設備として使用します。

サミット・ミッション・コントロール・センターに足を踏み入れると、これまでの ispace の月探査への挑戦の歴史が記されており、進行中の月面ミッションを管制するオペレーションルームへと続きます。そこにはミッションデータをチーム全体に共有可能なオペレーター用コンソールと大型モニターが設置されています。宇宙空間をイメージしたような室内には、ミッションの目的地である月の光のような、柔らかな照明がオペレーターを真上から照らしています。



サミット・ミッション・コントロール・センターのメインオペレーションルーム

2 つ目のオペレーションルームは、打ち上げ前やミッション中のシミュレーション、リハーサルを実施するパイロードのオペレーターや顧客のために用意されました。



サミット・ミッション・コントロール・センターの2つ目のオペレーションルーム

サミット・ミッション・コントロール・センターは、ispace がミッション 1 での経験や間近に迫るミッション 2 の準備の中から得た様々な学びを活かして構成されています。ispace U.S. のミッションを行うオペレーションチームは、実際にミッション 1 の運行をサポートしましたが、ミッション 2 でも同様のサポートを予定しています。実際の経験に基づいた設計がミッション 3 に向けたオペレーショントレーニングにも活かされます。

ミッション 3 では、ispace U.S. は Team Draper の一員としてアメリカ航空宇宙局 (NASA) による複数の科学的ペイロードを、月の裏側、南極付近に位置する Schrödinger Basin (シュレーディンガー盆地) へ輸送する計画です。2026 年に打ち上げを予定している本ミッションにおいて、ispace U.S. は政府および民間によるペイロード輸送と運用を担当します。ランダー (月着陸船) は宇宙空間を航行中、直接地球と通信することが可能な一方、月面上での通信確立のため、ispace U.S. は軌道上に 2 基のリレー衛星を展開する予定です。

■ ispace U.S. Mission Director、Tyler Mundt (タイラー・ムント) コメント

「ispace のビジョンは、シスルナ経済圏を構築し発展させることであり、このサミット・ミッション・コントロール・センターは、重要な運用インフラの一部となります。このたび、私たちのプログラムライフサイクルの中で、今後 ispace の従業員が、共に宇宙機を月面に軟着陸させる操作や、顧客のペイロードが月面及び月周回軌道上において生産的にミッションを行うための管制室が完成したことを、とても嬉しく思っています。東京とルクセンブルクのチームがミッション 1 およびミッション 2 を経て得た知識や経験を活用することで、私たちは高度な機能を備えた地上設備開発を加速させ、打ち上げに向けて早くからトレーニングや準備に取り掛かることが出来ました。」

■ ispace technologies, U.S., inc. (<https://ispace-us.com/>)について

コロラド州デンバー郊外に位置する、株式会社 ispace の US 法人。地球から月への輸送サービスを政府及び民間顧客に提供する米国の月開発企業。月の資源活用に着目し、月、及び地球と月の間において人類の生活圏、経済圏を構築することを目指している。ispace U.S. は米国で設計・製造・打ち上げが行われる APEX1.0 ランダー開発の中心地であると同時に、北米における事業の拠点としての役割を担う。Team Draper の一員として、アメリカ航空宇宙局 (NASA) の商業月面輸送サービス (Commercial Lunar Payload Services, CLPS) に採択され、NASA が後援する複数の科学ペイロードを月周回軌道及び月面へ輸送する予定。ispace U.S. CEO の Ronald J. Garan Jr. は元 NASA 宇宙飛行士であり、宇宙産業における第一人者。彼を含む ispace U.S. の経営陣には、米国の数々の宇宙プログラムにおいて活躍したプロフェッショナルが集結。